



幼稚園で幼年消防クラブ 満了式

坂下南・坂下東幼稚園にて、幼年消防クラブ満了式が開催されました。

園児たちは、会津坂下消防署長、町消防団長から一年間火の用心に努めたことへのねぎらいの言葉をもらおうと、「これからも火の用心します!」と誓いました。消防クラブを務めた年長組の園児には満了証や記念品が手渡されました。また、来年の消防クラブ員となる年中組の園児には纏いが渡され、バトンタッチが行われました。

ま ち の 話 題

新型コロナウイルス感染症 対策本部を設置



2月27日、町では新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しました。また、国内の感染状況を考慮し、安全確保・感染防止のため、町内高校では3月2日、小・中学校などでは3月4日から臨時休校、町主催の大規模イベントなどは中止・延期の措置を取りました。

●新型コロナウイルス感染症情報

3月10日配布文書、町ホームページにて随時発信

会津坂下町 HP

検索

故 黒澤英司様 「瑞宝単光章」受章

▶ 勲記・勲章が伝達されま



前会津坂下町消防団長の故 黒澤英司さんが「瑞宝単光章」を受章されました。3月6日、奥様である黒澤てつ子さんに勲記・勲章が伝達され、「本人は常に町の消防・防災に精力を注いでいました。この度の叙勲に対し、感謝申し上げます。」と話されました。

黒澤さんは昭和57年に町消防団入団、平成25年から29年まで団長を務め、退団までの35年間で地域の消防、防災活動に尽力されました。



／ 齋藤町長の／ スマイル☺トーク 「花ヒラク!」

やわらかな春風が吹く、あたたかな季節がそこまで来ています。記録的な暖冬の影響もあり、今春の桜の開花は全国的に早まると言われています。近年では英語でも「SAKURA」と呼ばれるなど、日本を象徴する花として多くの外国人から親しみを持たれています。

「芽吹き春」ともいうように、春に咲く花は桜以外にも数多くあります。白や薄紅色のかわいらしい花を咲かせるハナミズキは、この花をモチーフとした歌が大ヒットし広く名前が知れ渡りました。「ゆっくりではあるが確実に成長する」という生育の特徴により、「永続性」という花言葉をもっているそうです。

色とりどりの花が咲く春の訪れのなかで、着実にステップを踏み、魅力あふれる持続可能なまちづくりを進めてまいります。さあ、希望に満ちた春の陽気のもと、新たなスタートを切りましょう!

令和元年度会津坂下町民憲章推進章

「会津坂下町民憲章」の推進にふさわしい活動をされた個人・団体へ会津坂下町民憲章推進章が贈呈されました。
受章された皆さまへ敬意と感謝を申し上げます。



▲中村区のざる菊

受章者団体一覧（敬称略）

会津農林高等学校早乙女踊り保存クラブ

「早乙女踊り」の継承活動

金上地区老人クラブ連合会

老人クラブ活動の企画・推進

金上地区の校庭整備

慶徳 敬子

総合的な学習の時間における会津伝統野菜についての学習指導

坂下東小学校合唱部

合唱を通じた地域振興活動



▲どじょっこクラブ

中村区

ざる菊の植栽による地域振興・環境美化活動

どじょっこクラブ

育児サークルの活動支援

塔寺山いこいの森百年委員会

森林ボランティア活動による森林保護育成と自然環境保全

坂下婦人会

家庭科の授業における指導補助、託児活動

山口 久雄・山口 ツヤ子

窪地区県道での植栽活動

山内 真一

小学校入学児童への記念品の寄贈

会津坂下町民憲章とは…町民が心を合わせて、明るく、住みよい町づくりを積極的に進めるための道しるべとして、町制施行30周年を記念して制定されました。「自然」「福祉」「健康と活力」「きまり」「文化」の5つの柱で形成されています。

令和元年度会津坂下町感謝状贈呈

町に対して多大なるご寄贈いただいた個人・団体へ感謝状が贈呈されました。

受贈された皆さまへ敬意と感謝を申し上げます。



▲福島県産和牛寄付。坂下南・坂下東幼稚園、坂下南・坂下東小学校、坂下中学校に牛井として提供されました。

贈呈者団体一覧（敬称略）

会津よつば農業協同組合

みどり地区 和牛部会長 林邊 啓生

福島県産和牛肉 約20kg

食育および地産地消の推進のため

山内 真一

ミニわらじストラップ 105組

小学生の交通安全のため

有限会社 糸吉商店 代表取締役 高久公博

クーピーペンシル 100組

鉛筆6本セット 696組

児童の教育推進のため

会津よつば農業協同組合

代表理事組合長 長谷川 正市

防犯ライト 342個

町の防犯対策のため

東北電力株式会社

会津若松電力センター所長 木村 一郎

LED防犯灯 15灯

町の安全・防犯のため

石綿 力

福俵三ツ重 台付き 3組

町政発展のため

図書室だより

新着本の紹介

『会津藩燃ゆ:我等かく戦へり: 令和新版』



一般書

星亮一／著
ぱるす出版

『明智光秀の生涯(歴史文化ライブラリー: 490)』



一般書

諏訪勝則／著
吉川弘文館

『あなただけの、咲き方で』



一般書

八千草薫／著
幻冬舎

『ラストで君は「まさか!」と言う春の物語』



児童書

PHP研究所／編
PHP研究所

『思いちがいの言葉(国語おもしろ発見クラブ)』



児童書

山口理／著
偕成社

『はじめくんがっこうへいく』



絵本

森川成美／作
山西ゲンイチ／絵
ナツメ社

図書室への新着本の設置は4月上旬になります。

☎ 教育課 社会文化班 ☎83-3010

～図書室の利用について～

○本を借りる

「図書利用者カード」は図書室で作ることができます。

高校生以下は3冊まで、大人は5冊まで貸出可能です。貸出期間は2週間です。

○本を返す

「図書返却箱」に返却してください。(図書室・事務室) ※事務室の返却箱には午後9時まで返せます。(日祝日は午後5時まで)

●開館時間：午前8時30分～午後5時
(木曜のみ午後7時まで)

●定休日：毎月第2火曜日

～4月23日は『子ども読書の日』です～

読書は子どもの言葉や感性、表現力を豊かにするとされています。あらためて親子で読書を楽しむ機会にしてみましょう。



町史編さん

調査余話 (31)

『会津農林高等学校と

山口弥一郎先生』

山口弥一郎先生は会津坂下町にゆかりのある先生です。

明治35年に新鶴村の肝煎きまじりの家に生まれ、会津中学卒業後、福島師範学校で教員の資格を取り最初の赴任地は坂下小学校でした。その後、中学時代の恩師から誘われて磐城女学校の教員となりましたが、高度な学問を学びたいと東北大学で地理学を学び、その時期に民俗学に出会い、その先駆者として実績を上げました。

津波研究のために主に岩手県の学

校で教員生活を送りましたが、戦後、

郷土に戻り、会津高等女学校(現在の葵高等学校)の教師となり、昭和31年からは会津農林高等学校で人文地理などを教えました。その頃の教え子は町内にも数多くお住まいです。

机上の学問だけでは真の歴史は学べない。地方の歴史の重要性を民俗学から学び、郷土研究を教え子達と実践するなど、戦後、重要な教育分

野になった社会科教育のリーダーとして活躍します。

会津高等女学校(会津女子高等学校校舎)では本名三条ほんなさんじょう(現金山町)、弥平四郎へいしろう(現西会津町)、二幣地にへいじ(現会津若松市大戸町)などの僻村を生徒と共に調査し、会津農林高等学校では農家建築を生徒の宿題としたり、亀ヶ森古墳や鎮守森古墳の実測調査を行いました。当時は評価の低かった分野ですが、今は貴重な資料であり、亀ヶ森古墳と鎮守森古墳は国指定の文化財として高く評価されています。

昭和天皇来福の際には、会津民俗館でその説明に当たりました。また、岩手県三陸地方の津波を専門に調査研究したことから、東日本大震災での災害復興などに大きな役割を果たしています。



▲山口弥一郎先生(後列右2番目)
※三富八千代氏提供

■問い合わせ

町史編さん室 ☎83-3010